

# 世界レベルでの保護地域管理水準向上のための普及ツール制作・出版と、IUCN グリーンリストの国内展開事業推進計画の作成

イベントの延べ参加者数	20人
資料集の発行(リーチ)部数	200部
活動の全体目標に対する達成度	70%



第1回検討会

## ◆成果と工夫したポイント

### ●成果

IUCN グリーンリストに関する資料と、その導入を支える保護地域の管理計画立案と、管理効果評価について、それぞれ200部報告書を作成し、日本を代表とする保護地域の研究者・関係政府機関に配布した。

### ●工夫

密接につながるテーマ(管理計画、効果の評価、良い管理の奨励)について、体系的な資料集を作成したこと。

## 課題

保護地域管理の水準を上げるための国際的ツール(管理計画の作成や効果の把握等の指針や、高い管理効果を認定・表彰する国際認証制度)の不在。

## 目標

保護地域の管理効果を評価、認定、表彰する国際的仕組み「IUCN グリーンリスト」の情報収集等を通じ、この分野の最新動向とグローバルスタンダードを把握すること。それらを発信するツールを作成すること。

## 活動内容

IUCN グリーンリスト事業を展開する専門家呼び開催した勉強会、事業の核となる保護地域の国際管理基準の検討、国内導入の課題等の論点整理を行うことを目的に、計3回グリーンリスト検討会議を開催した。検討会の成果として、保護地域管理計画立案のための指針、保護地域管理効果を評価するための指針、IUCN グリーンリスト紹介冊子の3つの報告書を作成した。



IUCN グリーンリスト  
紹介冊子

## 達成できなかったこと

国際的にも新しい取組みのため海外情報収集や、専門家の日程調整が難航したこともあり、全体作業スケジュールが後ろ倒しになってしまった。

## 今後の展望

日本の保護地域(国立公園や保護林等)をサンプルに、管理の世界基準と照らした特徴や課題を把握すること。